

病気の子どもに携わる多職種が連携するための勉強会

子どもたちに生きる力を!! 私たちに今できること

～ 入院中の支援や、退院後の復学支援について ～

参加対象：小学校から高等学校・特別支援学校の担任や保健室の先生、医療関係者、保護者、学生など



独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター
小児科 樋口 洋介 先生

2008年に岡山大学卒業、
2010年より小児科医として子どもたちの健やかな成長をサポート出来るように日々取り組んでいる。

日本小児科学会小児科専門医



認定特定非営利活動法人
ポケットサポート
代表理事 三好 祐也 氏

5歳で慢性ネフローゼ症候群を発症し、義務教育のほとんどを岡山大学病院(院内学級)で過ごす。その経験から母校の院内学級で学習支援ボランティア活動を始め、岡山大学大学院で病弱教育を研究。2015年にNPO法人ポケットサポート設立。座右の銘は「病気だけど誰より元気！」

【対談ファシリテーター】
2児の母としてゲストの思いを深掘り
フリーアナウンサー

中村 恵美 氏

福岡県出身、玉野市在住。1997年山陽放送入社。現在はRSKラジオのパーソナリティを担当。絵本セラピスト(R)・アンガーマネジメントの講座などを開催するほか、岡山NPOセンター理事を務める。

2020年に岡山県内の649校を対象に実施した調査で長期療養児が復学する際に気がかりなこととして、次の3点に多くの先生方が不安や悩みを抱えていることが明らかになりました。

- ① 児童生徒の体調管理
- ② 活動や運動の制限と許可の程度
- ③ 病気に関する正しい情報

この勉強会では長期療養を経験した子どもが学校へ復学する際に、どんな情報を共有して、どんな配慮が必要なのか、小児がん等の小児期に特有な病気に関する基礎を学ぶ機会にしたいと思います。

開催日時

2021年8月7日(土) 14時～16時 ※詳細は裏面参照

会場

YouTube ライブ配信にて生中継(ライブチャットで質問可能)

参加費

参加無料 ※8月6日(金) 15時までに事前申込が必要

主催：認定特定非営利活動法人ポケットサポート 助成：公益財団法人ベネッセこども基金
※イベント当日は新型コロナウイルス感染拡大防止のためYouTubeLiveにてポケットサポート事務所から生配信します。

お問い合わせ

ポケットサポート事務局(所在地：岡山市北区奥田本町22-2)

イベント詳細 WEB

<https://www.pokesapo.com/yb1>



タイムスケジュール

14:00～14:10
開会挨拶・登壇者紹介

14:10～14:50 Talk 1 (40分)

学校現場で明日から実践できる 子どもの体調確認や配慮ポイント

【トークゲスト】

・独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
小児科 樋口 洋介 先生

休憩 (10分) CMなどを配信予定

15:00～15:40 Talk 2 (40分)

病気を抱える子どもたちを 包括的に支えるための多職種連携

・認定NPO法人ポケットサポート
代表理事 三好 祐也 氏

休憩 (5分) CMなどを配信予定

15:45～15:55 振り返りトーク (10分)

ライブチャットに書き込まれた質問回答

15:55～16:00

閉会挨拶・参加者アンケートのお願い

明日から実践活用できる情報満載！

この勉強会をきっかけに病気を抱える子どもと家族の
地域支援ネットワークをさらに広げていきましょう。
YouTube ライブ配信チャットにて参加者からの質問も
随時受け付けますので、コメントお待ちしております。

お問い合わせ先

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

電話：086-289-8528 (事務局)

メール：info@pokesapo.com

勉強会への参加申込方法

下記 URL のイベント特設ページもしくは
「ポケットサポート」で検索して申込フォームから
名前、メールアドレスなどを送信してください。

▼8月7日(土)勉強会特設 WEB ページ

<https://www.pokesapo.com/yb1>

ポケットサポート



事前申込みいただいた方には8月2日(月)と
8月6日(金)にリマインドメールをお送りします。
メール本文内に YouTube 視聴用のアドレスを
お送りしますので必ずご確認ください。



ポケットサポートが目指す社会

病気を抱える子どもたちが 将来に希望を持ち 自分らしく暮らせる社会

1. 環境をつくる

病気を抱えていても子どもらしい時間が過ごせるように
学習支援・復学支援・自立支援ができる環境をつくる

2. 生きる力を育む

病気による困難を抱えていても前向きに生きていけるよう
当事者や専門家と共に子どもや家族の「生きる力」を育む

3. 人や気持ちをつなぐ

病気の子どもに関わる人をつなぐコーディネートを行うと
共に社会への理解啓発により支援者を増やしていく

